

No. 352
2000年
11月

OR学会だより

社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会
〒113-0032 東京都文京区弥生 2-4-16 学会センタービル 3階
電話(03)3815-3351代 Fax(03)3815-3352
http://www.orsj.or.jp/

● 日本 OR 学会各賞候補ご推薦のお願い

本学会では、毎年 OR 学会文献賞、実施賞、普及賞、事例研究賞、学生論文賞を贈り、それぞれの分野で顕著な仕事をされた個人や企業を表彰しております。今年度の受賞候補者のご推薦を募ります。締切は学生論文賞を除き、平成 13 年 1 月 31 日といたしますので、それに間に合うよう、学会所定の用紙をお早めに事務局宛にご請求ください。なお、5 賞の概要は次のとおりです。

〔文献賞〕 大西記念文献賞に引き続いて設けられた本会で最も歴史のある賞です。次の条件を満たす論文の著者をご推薦ください。

1. 論文は独創性と将来性に富み、OR の発展に寄与するものであること。
2. 論文は OR 学会発行の論文誌またはこれに相当する権威ある雑誌、論文集にその年（平成 12 年の 1 月 1 日より 12 月末日までに発行されたものをいう）に発表された論文であること。
3. 被推薦者は OR 学会員で、年齢は原則として 40 歳以下であること。

なお、論文の著者が複数以上あるときには、主としてその論文の作成にあたった者をもって代表とし、被推薦者とします。

〔実施賞〕 OR の実施を強く推薦してきた個人、グループまたは企業等に贈られます。従来は、東亜燃料工業(株)、(株)日立製作所、中部電力(株)、兵庫県、中国電力(株)、(財)電力中央研究所、住友金属工業(株)、三菱石油(株)、川崎製鉄(株)、(株)東芝、日本電気(株)、田辺製薬(株)、(株)日通総合研究所、(株)構造計画研究所、松下電工(株)、(株)安川電機、東京ガス(株)、NTT 研究開発本部、秩父小野田(株)、富士通(株)ソフトウェア事業本部ミドルウェア事業部、(株)ゼクセル技術本部、(株)数理システム等が主な受賞者でした。

〔普及賞〕 OR の普及に大きな貢献をした個人、グループまたは企業等に贈られます。従来は、森村英典、後藤正夫、森口繁一、横山 保、河田龍夫、小林宏治、国澤清典、西野吉次、三根 久、松田武彦、近藤次郎、西田俊夫、梅沢 豊、斎藤嘉博、唐津 一、藤森謙一、

三上 操、小田部 齋、原野秀永、千住鎮雄、依田浩、刀根 薫、松富武雄、児玉正憲、長谷川利治、御園生善尚、矢部 眞、本告光男、渡辺 浩、伊理正夫、高橋磐郎、権藤 元、牧野都治、海辺不二雄、小笠原曉の各氏および新日本製鐵(株)、(株)富士銀行、日科技連グループ、日本 IBM (株)、NTT、日本国有鉄道の各企業、団体が受賞者でした。

〔事例研究賞〕 学会員の行ったすぐれた事例研究に対して贈られます。学会員個人に限らず、学会員を含むグループも対象になります。事例研究の対象としては、OR の教育・実務において広く学会員に役立つソフトウェアの開発も含まれます。但し、その研究は、学会誌、学会の大会等、本学会において発表（ソフトウェアの場合はデモンストレーションを含む）されたものに限りま。

なお、ソフトウェアの開発の場合は、そのソフトウェアの本体あるいはサブセット版（機能限定等）が無償で学会員に提供されることが前提になりますが、本体が市販される目的で開発されたかどうかは問いません。

〔学生論文賞〕 学生による優れた OR に関する研究に対して贈られるものですが、来春提出される学部の卒業論文、または大学院の修士論文が対象となります。

応募締切は平成 13 年 3 月 31 日といたしますが、詳しい募集要領は、OR 誌 2 月号に掲載します。

(表彰委員会)

● 第 45 回シンポジウム

日 時：平成 13 年 4 月 30 日(月)

場 所：法政大学

● 平成 13 年度春季研究発表会

日 程：平成 13 年 5 月 1 日(火)、2 日(水)

場 所：法政大学

* 日本経営工学会との同時開催になります

特別テーマ：「IT 世紀のマネジメント」

実行委員長：若山邦紘（法政大学）

発表申込締切：平成 13 年 2 月 13 日(火) 必着

・研究発表は申込書およびアブストラクトの提出をも

って申込み受付とします。

- ・締切日以降の申込は一切受け付けませんので、予めご了承ください。

申込書の請求及び送付先：

日本オペレーションズ・リサーチ学会事務局
〒113-0032 文京区弥生2-4-16
学会センタービル3F
Tel.03(3815)3351, Fax.03(3815)3352
E-mail: kenkyu@orsj.or.jp

● OR 学会中部支部定例講演会

日 時：平成12年12月2日(土)

午後2:30~5:40

場 所：名古屋市中村区名駅1丁目2番4号 名鉄バスターミナルビル10階

テーマと講師：

- (1) 「サプライ・チェーン最適化(仮題)」
久保幹雄(東京商船大学流通情報工学助教授)
- (2) 「幾何ブラウン運動の最適インパルス制御について」
大西匡光(大阪大学経済学部助教授)

連絡先：玉置光司(愛知大学経営学部)

Tel.05613(6)1111 ext.8615 Fax.05613(6)5546
E-mail tamaki@vega.aichi-u.ac.jp

**● 平成12年度第4回ORセミナー
「金融リスクとOR」のご案内**

開催趣旨：

IT社会の進展により、金融工学がますます脚光を浴びている。金融工学においては、OR理論の応用される場面が数多い。OR学会では、昨年まで「投資と金融のOR」研究部会が10年あまり活動を続けてきた。同研究部会を創設されるとともに、先駆的な研究・教育を推進してこられた、東京工業大学・今野教授(理財工学研究センター長)にオーガナイズをお願いして、今回下記のセミナーを開催するに至った。本セミナーでは、理論・実例面から、金融リスク評価に対するOR理論の応用に関して、わかりやすく解説する。

日 時：平成12年12月5日(火) 10:00~17:00

会 場：中央大学理工学部(東京都文京区春日1-13-27)6号館7階会議室6701

プログラム：

10:00-11:45 「数理計画と市場・信用リスク」

東京工業大学 教授 今野 浩

はじめに金融工学における数理計画法の役割について紹介を行った後、資産運用における下方リスクモデル、市場リスク計量における条件付きVaR、半定値計画法による倒産判別に付いて説明する。

13:00-14:10 「市場リスクと信用リスクの統合」

ニッセイ基礎研究所金融研究部門 室町幸雄

ポートフォリオの市場リスクと信用リスクの統合評価は最近のホットな話題の一つであるが、この分野には首尾一貫した理論が確立されていなかった。本講演では、金利とデフォルト率を確率過程として表現することにより、自然な形で両者を統合評価できるフレームワークを提示し、その事例を紹介する。

14:20-15:30 「信用リスク管理とマルコフ連鎖」

東京都立大学 教授 木島正明

格付けは多くの金融機関で信用リスク管理の道具として使われているが、格付けの変動には相関があるので、相関を考慮したマルコフ連鎖によるモデル化が必要となる。本講演では、このようなモデル化および債券ポートフォリオ最適化への応用について考える。

15:50-17:00 「保険リスクの評価」

筑波大学 助教授 岩城秀樹

最近、価格理論において保険数理と金融工学の両者の融合を図ろうとする動きが見え始めている。本講演では、両者の融合に関する簡単なサーベイを行った後、金融工学的アプローチによる保険リスクの評価について解説する。

参加費：正・賛助会員25,000円、学生会員5,000円、非会員30,000円

申込方法：11月27日(月)までに学会事務局へ

E-mailまたはFaxにて

E-mail: kenkyu@orsj.or.jp

Fax.03(3815)3352

なお、先着60名で締め切りますので、御了承下さい。

問合せ先：(社)日本オペレーションズ・リサーチ学会事務局 Tel.03(3815)3351

〒113-0032 文京区弥生2-4-16 学会センタービル内

会場案内：中央大学理工学部(東京都文京区春日1-13-27)6号館7階会議室6701

Tel.03(3817)1680 (情報工学科事務室)

JR 総武線水道橋駅下車、徒歩10分

営団地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅下車、徒歩5

学会だより

分
都営地下鉄三田線春日駅下車、徒歩7分
アクセスマップは下記をご覧ください。
<http://www.chuo-u.ac.jp/chuo-u/access/k-map.html>

●平成12年度OR企業フォーラム
第1回インタラクティブフォーラム
のご案内

今年度、企業フォーラムの一環として、インタラクティブフォーラムを開催いたします。従来の企業フォーラムは講演がメインですが、本フォーラムは、講演と同時間程度の質疑応答時間を設けています。自由な雰囲気での活発な討議が特徴です。今年度、会員の皆様へのサービス事業として、従来の企業フォーラムと並行してインタラクティブフォーラムを開催します。

直接、生の情報に触れたいとお考えの方、異なる分野の情報に接して幅を広げたい方、会員、賛助会員の方ならばどなたでも自由に参加できます。第1回を下記の要領で開催しますので、学会事務局までお申し込みください。なお、運営の都合上定員20名程度で締め切らせていただきます。

ふるってご参加くださいますようご案内申し上げます。

開催要領

テーマ：「印刷業界とIT」(仮題)

ゲストスピーカー：大日本印刷株式会社C&I総合企画開発本部 久保田靖彦氏

日時：平成12年12月4日(月) 18:00~20:30

場所：学士会館(神田)307会議室

千代田区神田錦町3-28

Tel.03(3292)5931

地下鉄半蔵門線、都営三田線、都営新宿線神保町駅下車(出口A9)徒歩1分

参加資格者：OR学会会員 参加費(無料)

(個人正会員、学生会員、賛助会員)

申込み先：㈱日本オペレーションズ・リサーチ学会事務局

なお、運営の都合により参加者を20名程度に限らせて頂きます。

また、賛助会員のご参加は各企業2名以内に限らせて頂きます。

お申込みはE-mailにても承っております。必要事項(①インタラクティブフォーラムの開催日②お

名前③所属組織・部署名④会員種別(個人正会員、学生会員、賛助会員)⑤連絡先住所⑥TELまたはFAX番号)

E-mail: forum@orsj.or.jp

Tel.03(3815)3351 Fax.03(3815)3352

●国際会議案内

・20th IFIP TC7 Conference on System Modelling and Optimization

日程：平成13年7月23日(月)~27日(金)

場所：ドイツ国Trier

発表論文抄録申し込み期限：平成12年12月31日

問合せ先：プログラム委員 東京理科大学

矢島敬二教授

E-mail: yajima@ms.kuki.sut.ac.jp

*詳しくは<http://ifip2001.uni-trier.de>をご覧ください。

●平成13年度研究部会新設・継続申請受付

研究普及委員会では、その活動の大きな柱の1つとして、研究部会・グループの設立・運営のお手伝いをしてまいりましたが、来年度もこの方針に従って研究部会を積極的に育成していくことになりました。つきましては、新しい部会活動のご提案をふるって学会事務局にお寄せください。また、現在活動中の部会・グループのうちで来年度も継続して活動することを希望される場合、継続の申請をしてください。申請用紙は事務局に用意してあります。新設及び継続申請の締切は、11月30日(木)です。

部会の設置期間は、原則として2カ年以内ですが、理事会の承認が得られればさらに1カ年延長することも可能です。部会が発足しますと財政的な補助も致します。部会メンバーの公募につきましては、当委員会がお手伝い致します。研究テーマは、基礎理論から実践研究までご自由にお考えいただいて結構です。現在、次の部会・グループが設置されています。

待ち行列、OR/MSとシステム・マネジメント、数理計画(RAMP)、インフラストラクチャー問題、経営戦略、COM・SCM・スケジューリング、地域産業戦略、最適化とアルゴリズム、システム最適化の理論と応用、マーケティング・エンジニアリング、AHPの理論と実際、ORにおける数理システムの最適化、環境システム、ゲーム理論とその応用、数理的意思決定とその応用、評価のOR、マネージメントインフォ

メーションフォーラム静岡, 環境政策, グローバル政策, 情報流通とオープンネットワークワーキング, ファジイ動的計画法.

● 研究部会・グループ開催案内

[評価のOR]

・第4回

日時: 11月18日(土) 13:30~16:00

場所: 政策研究大学院大学 3階教室E

(〒162-8677 新宿区若松町2-2 都営新宿線あけぼの橋下車, 徒歩10分, 東京女子医大の隣, 旧税務大学校の跡地)

テーマと講師:

(1) 「Efficiency and Technical Change in the Philippine Rice Sector: A Malmquist Total Factor Productivity Analysis」

梅津千恵子 (神戸大学大学院自然科学研究科)

(2) 「区間AHPと不満の大きさ」

八巻直一 (静岡大学工学部システム工学科)

・第5回

日時: 12月9日(土) 14:00~17:00 終了後に忘年会と忘紀会

場所: 第4回に同じ

テーマと講師:

(1) 「神経層, 意思決定層, 通信層の情報ネットワーク複素AHP, DEAニューロン, AHP-ANP統一モデル」

篠原正明 (日本大学生産工学部)

(2) 「NTT上限価格算定に用いられたDEA」

刀根 薫 (政策研究大学院大学)

今後の予定

第6回 2001年1月27日(土), 学生大会, 政策研究大学院大学 (あけぼの橋)

第7回 2001年2月24日(土), 学生大会, 政策研究大学院大学 (あけぼの橋)

問合せ先: 日本大学生産工学部数理工学科

篠原正明 (〒275-8575 習志野市泉町1-2-1)

Tel.047(474)2672

E-mail: m7sinoha@ccu.cit.nihon-u.ac.jp

[システム最適化の理論と応用]

・第12回

日時: 11月18日(土) 14:00~17:00

場所: 九州大学経済学部 2階中会議室

テーマと講師:

(1) 「中国情報化の現状と課題—インターネット利用を中心として」

譚 康融 (久留米大学経済学部)

(2) 「擬似モンテカルロ法とその応用」

大久保幸夫 (鹿児島国際大学経済学部)

問合せ先: 九州大学経済学部 時永祥三

(福岡市東区箱崎6-19-1)

Tel/Fax.092(642)2466

E-mail: a71382a@kyu-cc.cc.kyushu-u.ac.jp

[待ち行列]

・第153回

日時: 11月18日(土) 14:00~16:30

場所: 東京工業大学 西8号館(W)809号室

テーマと講師:

(1) 「ネットワークの遅延・輻輳が, 多重化IPトラヒックの自己相似性に与える影響」

古屋裕規 (KDD研究所)

(2) 「分散システムにおける性能劣化パラドックスの解と発生条件」

亀田壽夫 (筑波大学)

問合せ先: 東京工業大学大学院情報理工学研究科数

理・計算科学専攻 三好直人

Tel.03(5734)3218

E-mail: miyoshi@is.titech.ac.jp

[AHPの理論と実際]

・第4回

日時: 12月1日(金) 14:00~17:00

場所: 勸電力中央研究所 大手町第1会議室

(千代田区大手町1-6-1 大手町ビル7階733室)

テーマと講師:

(1) 「DEAと合意形成」山田善晴 (東京理科大学)

(2) 「AHPと合意形成」高野伸栄 (北海道大学)

問合せ先: 勸電力中央研究所 大屋隆生

Tel.03(3480)2111 Fax.03(5497)0318

E-mail: ohya@criepi.denken.or.jp

[環境政策]

日時: 12月8日(金) 15:00~17:00

場所: 東京ガス㈱本社13階1304会議室 JR浜松町駅南口(モノレール側)出て左方すぐ(東京都港区海岸1-5-20)

テーマ: 「グリーン購入法について」

講師: 川村一郎 (環境庁企画調整局環境保全活動推進室長補佐)

参加費: 無料

申込先：キックス総研(株) 小池 清
Tel.03(3769)2260 Fax.03(3769)2260

● 会合案内

[平成12年度第2回OR企業フォーラム]

日時：11月22日(水) 18:00~20:50

場所：学士会館会議室

テーマ：「ニューエコノミー経営戦略」

講師：プライスウォーターハウスコーパース
コンサルタント(株) 代表取締役会長兼社長 倉重 秀
樹氏

参加費：無料

問合せ先：日本OR学会事務局

E-mail: forum@orsj.or.jp

(詳しくはOR誌10月号綴込みをご参照下さい。)

[第203回新宿OR研究会]

日時：11月21日(火) 12:00~13:30

場所：東天紅会議室(新宿センタービル53F)

テーマ：「GPSの現状と将来」

講師：安田 明生氏(東京商船大学教授)

参加費：3,000円

問合せ先：日本OR学会事務局

● 他学協会案内

・第31回信頼性・保全性シンポジウム(協賛)

テーマ：「21世紀の信頼性・保全性・安全性」

主催：(財)日本科学技術連盟

日程：平成13年7月10日(火)、11日(水)

場所：JAビル(東京・大手町)

問合せ先：(財)日本科学技術連盟 応用システム課
R&MS係

Tel.03(5379)1224 Fax.03(3225)1814

E-mail: XLA03104@nifty.ne.jp

● 公募案内

・茨城大学 工学部 システム工学科

募集人員：助教授または講師1名

所属講座：システム基礎学講座

専門分野：電気エネルギーシステム工学

担当科目：システム工学概論, 数理計画法, 電気エネ
ルギーシステム工学(夜間主コースの科目担当も有
り)

応募資格：上記の分野を専門とする博士の学位を有す
る方。システムの最適化に興味があり, 年齢35~

45歳が望ましい。

着任時期：平成13年4月1日

提出書類：履歴書, 研究業績リスト, 論文別刷り, 志
望動機, 推薦書

応募締切：平成12年12月11日

問合せ先：〒316-8511 茨城県日立市中成沢町4-12-1

茨城大学工学部システム工学科教授 奈良宏一

Tel.0294(38)5182 Fax.0294(38)5229

E-mail: nara@ipc.ibaraki.ac.jp

・鳥取大学 工学部 社会開発システム工学科

募集人員：助教授または講師1名

所属講座：応用システム工学講座

専門分野：確率過程および信頼性工学

担当科目：上記に関連する授業

応募資格：博士の学位を有すること, 着任時40歳以
下であること。

着任時期：平成13年4月1日

提出書類：履歴書, 研究業績リスト, 論文別刷, 研
究・教育・学会や社会における活動の概要, 今後の
教育と研究についての抱負, 応募者の業績などを問
合せできる方2名の氏名・連絡先

応募締切：平成12年12月20日(月)

問合せ先：〒680-8552 鳥取市湖山町南4-101

鳥取大学工学部 社会開発システム工学科教授

河合 一

Tel.0857(31)5306 Fax.0857(31)0882

E-mail: kawai@sse.tottori-u.ac.jp

・筑波大学 社会工学系

募集人員：講師又は助手(3年期限付き研究専任教
員)1名

専門分野：情報, 経営(ビジネスモデル)

採用時期：平成13年4月1日予定(平成16年3月
31日までの3年期限付き採用)

応募資格：(1)博士またはPh.D.の学位を有すること
(2)講師の場合は, 査読付き, またはこれと同等の論
文が少なくとも1篇以上公刊, または受理されてい
ること(3)筑波大学学内プロジェクト特別助成研究の
「高度ネットワークを用いたビジネスモデルの開発
と研究」に配置された研究専任教員であるというこ
とを了解すること

提出書類：履歴書, 研究業績一覧, 論文の別刷り, ま
たはコピー

応募締切：平成12年11月30日(木)

問合せ先：〒305-8573 茨城県つくば市天王台1-1-1